

2020年8月6日

各位

会社名 NISSHA 株式会社  
 代表者名 代表取締役社長 兼 最高経営責任者 鈴木順也  
 (コード番号 7915 東証第1部)  
 問合せ先 取締役専務執行役員 兼 最高財務責任者 西原勇人  
 (TEL. 075-811-8111)

## 第2四半期連結累計期間業績予想との差異、通期連結業績予想の修正、 剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正に関するお知らせ

2020年5月13日に公表いたしました2020年12月期第2四半期連結累計期間(2020年1月1日～2020年6月30日)の業績予想と実績との差異および2020年12月期通期(2020年1月1日～2020年12月31日)の連結業績予想の修正について、お知らせいたします。

また、2020年8月6日開催の取締役会において、下記のとおり2020年6月30日を基準日とする剰余金の配当について決議いたしました。あわせて、2020年12月期の期末配当予想についても修正いたしますので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 2020年12月期第2四半期(累計)連結業績予想数値との差異(2020年1月1日～2020年6月30日)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 四半期利益	基本的1株当たり 四半期純利益
前回発表予想(A)	百万円 77,000	百万円 Δ4,000	百万円 Δ4,200	百万円 Δ5,200	円 銭 Δ104.13
実績値(B)	77,164	Δ1,242	Δ1,151	Δ245	Δ4.91
増減額(B-A)	164	2,757	3,048	4,954	
増減率(%)	0.2	—	—	—	
(ご参考) 前期第2四半期 実績(2019年12月期第2 四半期)	74,408	Δ6,351	Δ6,726	Δ6,799	Δ136.23

#### 差異が生じた理由

売上高は概ね想定通りに推移しました。損益面では、営業利益、税引前利益は製品ミックスの改善やコスト削減の効果などにより前回予想を上回りました。親会社の所有者に帰属する四半期利益はこれらの影響に加えて、その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産である投資有価証券の売却により生ずる未払法人所得税等約18億円をその他の包括利益にて認識した影響により前回予想を上回りました。

2. 2020年12月期通期連結業績予想数値の修正(2020年1月1日～2020年12月31日)

	売上高	営業利益	税引前利益	親会社の所有者 に帰属する 当期利益	基本的1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	百万円 166,000	百万円 Δ2,000	百万円 Δ2,700	百万円 Δ3,500	円 銭 Δ70.12
今回修正予想(B)	166,000	1,500	1,200	1,300	26.02
増減額(B-A)	—	3,500	3,900	4,800	
増減率(%)	—	—	—	—	
(ご参考) 前期実績 (2019年12月期)	174,035	Δ16,253	Δ16,634	Δ17,183	Δ344.27

(注) 当第2四半期連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、前期実績について、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

修正の理由

売上高につきましては、産業資材事業やメディカルテクノロジー事業の製品需要が減少する一方で、デバイス事業の製品需要が増加することなどにより、前回予想から変更ありません。

損益面では営業利益、税引前利益、親会社の所有者に帰属する当期利益は、第2四半期連結累計期間の実績に加え製品ミックスの改善を踏まえた結果、想定を上回る見通しです。

3. 剰余金の配当(中間配当)および期末配当予想の修正について

(1) 剰余金の配当(中間配当)の内容

	決定額	直近の配当予想 (2020年5月13日公表)	前期実績 (2019年12月期中間配当)
基準日	2020年6月30日	同左	2019年6月30日
1株当たり配当金	15円00銭	未定	15円00銭
配当金総額	755百万円	—	749百万円
効力発生日	2020年9月1日	—	2019年9月2日
配当原資	利益剰余金	—	利益剰余金

(2) 期末配当予想修正の内容

基準日	1株当たり配当金(円)		
	第2四半期末	期末	合計
前回予想 (2020年5月13日公表)	未定	未定	未定
今回修正予想		15円00銭	30円00銭
当期実績	15円00銭		
前期実績 (2019年12月期)	15円00銭	20円00銭	35円00銭

(注) 2019年12月期期末配当金の内訳 普通配当15円00銭 創業90周年記念配当5円00銭

(3) 理由

当社は、当期および今後の業績、配当性向、財務面での健全性などを総合的に勘案して安定配当の継続を基本としています。当期の中間配当および期末配当について、2020年5月13日公表において、配当予想を「未定」としていましたが、業績動向や今後の財務状況などを総合的に勘案し、中間配当金および期末配当金予想をそれぞれ1株当たり15円とすることといたしました。

以上